

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	D-20-2		
事業名	旭市防災総合推進事業（避難案内標識等）		
事業費	総額 23,229 千円（国費 15,486 千円） （内訳：工事費 23,229 千円、）		
事業期間	平成 24 年度～平成 26 年度		
事業目的・事業地区（別紙として地図を添付）	<p>・ 事業目的</p> <p>海水浴場等の海岸集客施設周辺を中心に、避難場所や避難経路を分かりやすく図示した看板の設置など市外からの観光客に配慮した安全対策を講じ、避難場所へ誘導する。</p> <p>避難場所案内看板 海岸集客施設周辺に、現在地・津波浸水予測範囲・津波避難施設の位置等を表示した看板を設置</p> <p>避難誘導看板 避難路に避難施設の方向・距離を表示した看板を設置</p> <p>避難場所表示看板 避難場所に指定されている施設であることを示す看板</p> <p>・ 事業地区 別紙のとおり</p>		
事業結果	○避難場所案内看板	板面寸法	横1800mm×縦1150mm
		設置基数	4基
		設置箇所	いいおかみなと公園 飯岡海水浴場 矢指ヶ浦海水浴場 あさひパークゴルフ場
	 		

○避難誘導看板 板面寸法 横 300 mm×縦 600 mm 他  
 設置基数 87 基 (内路面シート 5 箇所)



①避難誘導看板 (自立)



②板面拡大



③避難誘導看板 (共架)



④路面シート



⑤表示誘導看板 (地図付)



⑥板面拡大



⑦夜間照明点灯時

○避難場所表示看板 板面寸法 横 1200 mm×縦 800 mm 他  
設置基数 34 基 (内巨大ピクト 4 箇所)



①避難場所表示看板



②板面拡大



③夜間照明点灯時



④巨大ピクト

## 事業の実績に関する評価

### ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

避難場所までの距離や方角、浸水予測範囲等を表示した看板を設置したことで、市外等から訪れ地理に詳しくない人へも、津波の危険性を伝えるとともに避難誘導を図ることが可能となった。また地域市民に対しては、日頃から看板を目にすることで、防災意識啓発につなげている。

### ② コストに関する調査・分析・評価

既存柱を利用できる場合は、共架することとし、コスト縮減を図った。

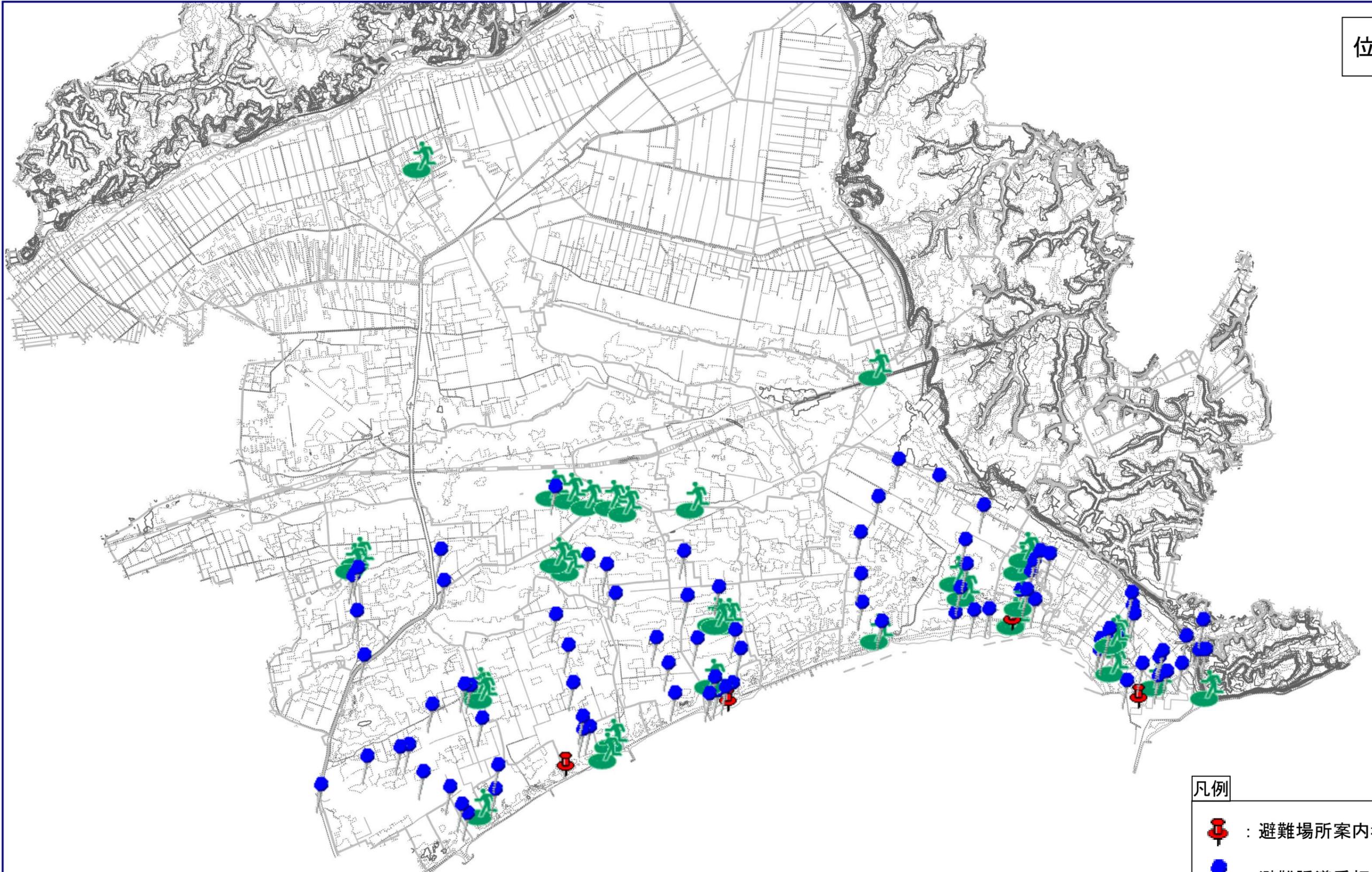
### ③ 事業手法に関する調査・分析・評価

海岸部の集客施設などから津波避難場所や津波避難ビルへ円滑に誘導できるよう、集客施設の出入口近辺や避難路の交差点部など目につきやすい場所に各看板を設置している。また、避難誘導看板の一部と避難場所表示看板には蓄電池付きの照明を設置し、停電時の夜間でも看板が認識しやすいよう対応している。なお、千葉県が行った津波シミュレーションによる津波浸水予測範囲等を活用できたこと、さらに、既存柱への共架により工期短縮が図れ、想定期間内に完了することができたことから、事業手法は適正であったと考える。

## 事業担当部局

総務課地域安全班 電話番号：0479-62-5311

位置図



凡例

-  : 避難場所案内看板
-  : 避難誘導看板
-  : 避難場所表示看板

・都市計画上の用途地域、その他行政上の規制の有無を証明するものではありません。  
・土地の境界を示すものではありません。  
・権利や義務の証明、手続きや届出等の資料等、特定の目的に適合することを保証するものではありません。  
・旭市は、この地図情報の利用によって発生する直接または間接の損失、損害等について、一切の責任を負いません。